

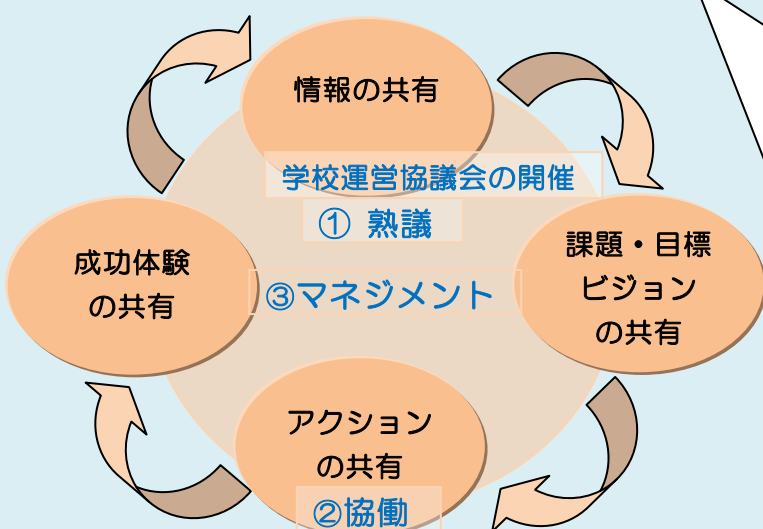
宇部のコミュニティ・スクール

学校・家庭・地域が相互理解や信頼関係を深めるために

コミスクだより 37号で、地域とともにある学校運営に欠かせない機能（3つの視点）の1つ「熟議」の大切さをお伝えしました。今回は2つ目の視点「協働」についてお伝えします。

「協働」とは、同じ目的・目標に向かって、対等の立場で協力して共に働くことをいいます。そのため、保護者や地域住民などが計画段階から参画し、現状や課題、目標・ビジョンの共有ができたうえで、目標に向けた取組を進めてこそ、はじめて「協働」といえます。

地域とともにある学校の運営における3つの視点



地域とともにある学校の運営においては、学校・家庭・地域で情報及び課題・目標・ビジョンの共有を確実に行うことです。

これらの共有が十分でないと、一方が他方に「お願い」をし、それに対して『支援をする』という、貸し借りのような関係になってしまうことがあります。

学校運営協議会でやる協議に加え、熟議・協働・マネジメントの3つの視点をもって、共有の好循環を創ることが重要となります。

文部科学省パンフレット
「コミュニティ・スクール 2018」参考

◎「地域協育ネット」の取組紹介

神原中学校区合同学校運営協議会

11月30日に、見初ふれあいセンターで神原中学校区合同学校運営協議会が開催されました。見初小、神原小、神原中の3校から学校運営協議会委員やPTAの方、教職員、約60名が参加した大きな協議会となりました。

3校の学校支援や地域貢献など学校と地域が連携・協働する取組に関して発表された後10グループに分かれ、校区でめざす子ども像「思いやりの心をもつ人」「考えて行動する人」「地域に貢献する人」の具現化に向けた課題や取組を協議しました。

今後ますます、学校と地域の相互理解や信頼関係が深まり、地域総がかりで子どもの学びや育ちを見守り支援する取組が充実されることを確信しました。



【保護者・地域・学校が対等な立場で、子どもたちのための取組を熱心に熟議しました。】

コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail : ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp